

取扱説明書

●お使いになる前に

安全のために必ずお守りください	2~3
各部のなまえ	4~7

●運転のしかた

運転モードの切換、室温・風速調節のしかた	8~9
応急運転のしかた	9
換気運転しかた	10
その他の表示・点滅について	10
タイマー、スケジュール、省エネ運転のしかた	11
タイマー運転のしかた	12
もっと知りたいとき	13
上手な使い方	14

●お手入れのしかた・困ったときに








「故障かな？」と思ったら	15~16
お手入れのしかた	17~18
長期間で使用にならないとき	18
移設・工事について	19
保証とアフターサービス	20
仕様	21

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管ください。
- 保証書は「お買上日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管ください。
- お使いになる方が代わる場合には必ずこの取扱説明書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。
- お客さまご自身では据付・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません）

● お使いになる前に 安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。 ■ “図記号”の意味は次のとおりです。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。	 禁止	 アース線接続
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。	 指示を守る	 水ぬれ禁止
		 ぬれ手禁止	

警告

<p>長時間直接お肌に風をあてない</p> <p>健康を損なう原因になります。</p>  	<p>異常時(異臭・異音・振動大など)は運転を停止して、電源スイッチを切る</p> <p>異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断機がたびたび作動する場合もお買い上げの販売店にご連絡ください。</p>  
<p>お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない</p> <p>不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買い上げの販売店にご相談ください。</p>  	<p>清掃及びメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る</p> <p>ファン及びファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。</p>  
<p>エアコンおよびリモコンを水洗いしない</p> <p>ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。</p>  	<p>吸込口・吹出口に指や棒などを入れない</p> <p>特にお子さまにご注意を!</p> <p>内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。</p>  
<p>濡れた手で電源スイッチを操作しない</p> <p>感電の原因になります。</p>  	<p>万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う</p> <p>冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。</p>  
<p>電気部品に水(洗浄水等)をかけない</p> <p>電気部品に水(洗浄水等)がかかると、感電・発煙・発火の原因になります。</p>  	

注意

<p>粉が浮遊する作業場等では使用しない</p> <p>粉じんなどにより機器の故障や健康を損傷原因になります。</p>  	<p>室内ユニットの金属部にさわらない。</p> <p>ケガの原因になります。</p>  
<p>直接風のあたる所に燃焼器具を置かない</p> <p>不完全燃焼の原因になることがあります。エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。</p>  	<p>室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない</p> <p>冷房時、多湿(湿度80%以上)時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。</p>  
<p>特殊用途に使用しない</p> <p>精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になります。</p>  	<p>室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない</p> <p>落下・転倒によるケガの原因になります。</p>  
<p>直接風があたる所に動植物を置かない</p> <p>動植物に悪影響を及ぼす原因になります。</p>  	<p>据付台などがいたんだ状態で放置しない</p> <p>ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。</p>  
<p>殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない</p> <p>火災・変形の原因になります。</p>  	<p>運転中に冷媒配管に触れない</p> <p>素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。</p>  
<p>燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する</p> <p>酸素不足の原因になります。</p>  	<p>清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る</p> <p>運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。</p>  

安全のために必ずお守りください

⚠ 注意

フィルターなどの着脱のときは 不安定な台に乗らない

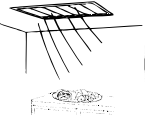
落下・転倒によるケガの原因になります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。



禁止

エアコンの下方に食品を置かない。

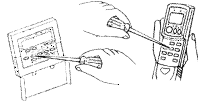
ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は十分ご注意ください。



禁止

リモコンを先がとがった物で押さない。

故障の原因になります。



禁止

室内を薬品消毒のときには エアコンを停止する。

薬品が飛散し危険です。



エアコン停止

フィルターの着脱には、 保護具（メガネなど）を着用する

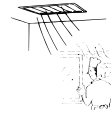
目にゴミ・ホコリが入ることがあります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。



保護具着用

室内を薬品消毒のあとには、必ず換気をし、 4～5時間送風運転を行う

エアコンに付着した薬品が吹き出すおそれがあり危険です。



換気・送風運転

据付時 次の項目をご確認ください。

⚠ 警告

据付けは、お買い上げの販売店または 専門業者に依頼ください。



据付け

元電源の取付位置を確認する



元電源

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、 遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



専用回路

漏電遮断器を取付ける

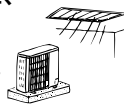
取付けていないと、感電の原因になります。



漏電遮断器

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、 かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



設置場所

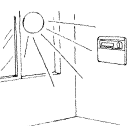
使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客様ご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



別売部品

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃ 以下になる場所、または直射日光があた る場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに 掛かるところには取付けない。



据付禁止

⚠ 注意

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据付けない

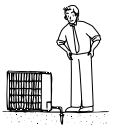
ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



設置禁止

アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

ドレン配管は確実にを行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。



排水

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いので、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が漏れたときの処置）

万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください。

本体が腐食しガス漏れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 粉や蒸気が多量に発生するところ
- 酢（酢酸）を多量に使用するところ
- 油煙がたちこめるところ
- 温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪により室外ユニットが塞がれるところ
- 炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ

（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

安全のために必ずお守りください

● お使いになる前に 各部のなまえ

室内ユニット

■ユニットの形態により、装備している機能が異なります。

		PDZ-KP・FM形
風速		56~80形 4段階 90~140形 2段階
上下風向調節		-
左右風向調節		-
ロングライフフィルター		○
フィルタークリーニングサイン積算時間		2500時間
ワイヤレスリモコン機種設定機種No. ※3	冷暖切換タイプ	56~80形 241 90~140形 243

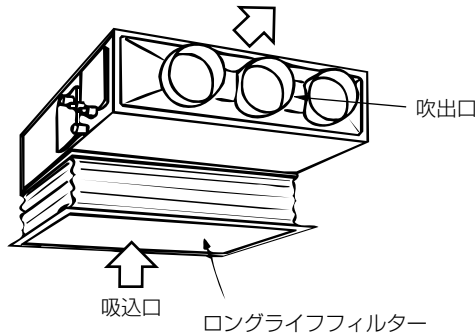
※1 リモコンにより操作できる機能が異なります。

※2 ワイヤレスリモコンをご使用する場合には、ワイヤレスリモコン側へ上表「機種No.」の設定を行ってください。

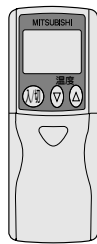
・ワイヤレスリモコンの機種設定方法は、ワイヤレスリモコンの据付工事説明書をご確認ください。

各部のなまえ

PDZ-KP・FM形 天井ビルトイン形



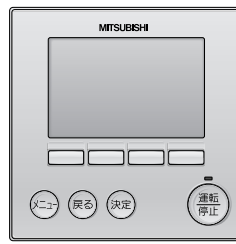
リモコン



表示部

操作部

ワイヤレスリモコン (別売部品)

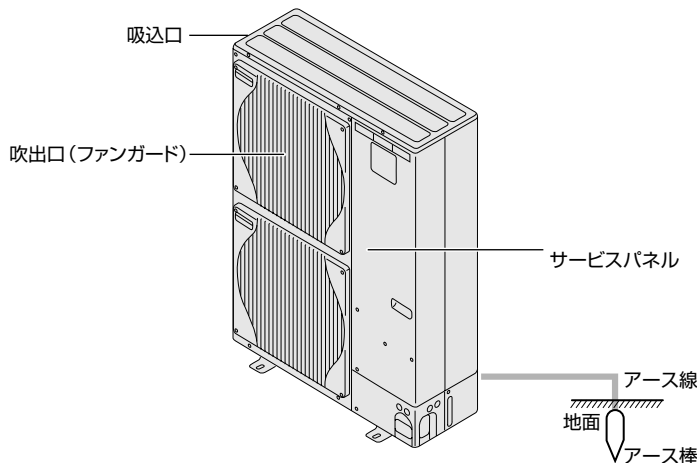


表示部

操作部

ワイヤードリモコン (別売部品)

室外ユニット



お知らせ

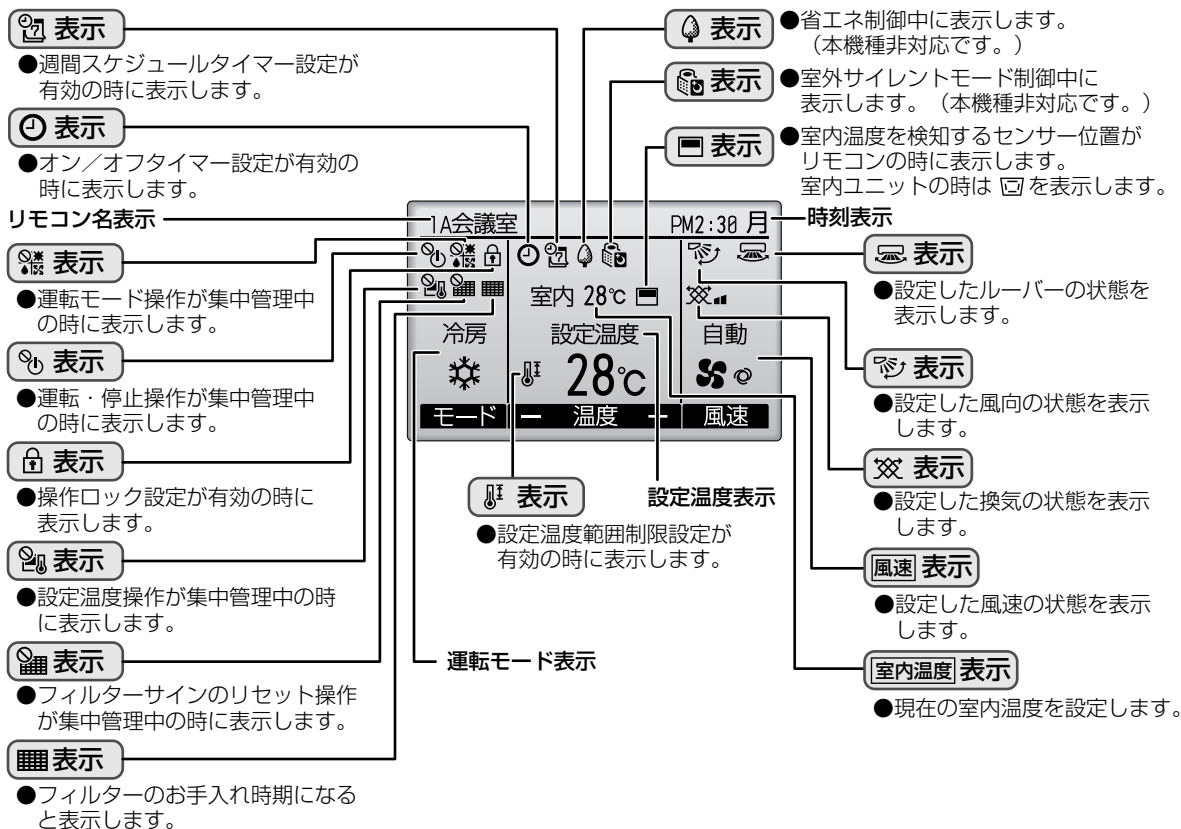
- ご使用にあたっては、以下の点をご承知おきください。
- ・ハイパワー運転、室外サイレントモード設定、省エネ運転スケジュール、CO₂排出量表示は使用できません。

ワイヤードリモコン (別売部品)

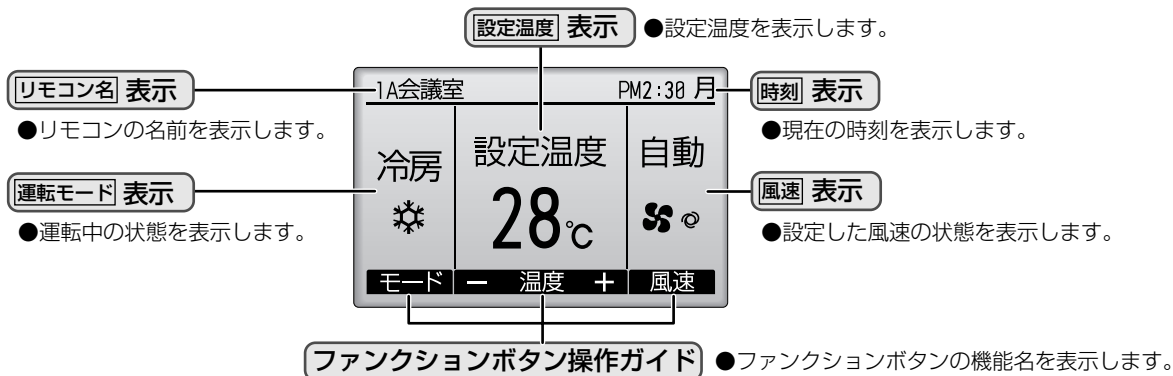
表示部

- 説明のためすべての表示内容を示しています。
- 表示部は「詳細」と「簡易」の2種類があります。初期設定は詳細画面表示となっています。

詳細画面



簡易画面



● お使いになる前に 各部のなまえ

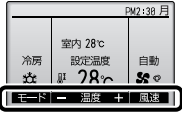
各部のなまえ

操作部

ファンクションボタン

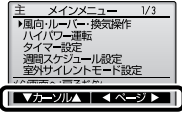
ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。

メイン画面



F1 F2 F3 F4

メインメニュー画面



F1 F2 F3 F4

F1ボタン

- メイン画面：運転モードを切替えます。
- メインメニュー画面：カーソルが下に移動します。

F2ボタン

- メイン画面：設定温度を下げます。
- メインメニュー画面：カーソルが上に移動します。

F3ボタン

- メイン画面：設定温度を上げます。
- メインメニュー画面：前のページを表示します。

F4ボタン

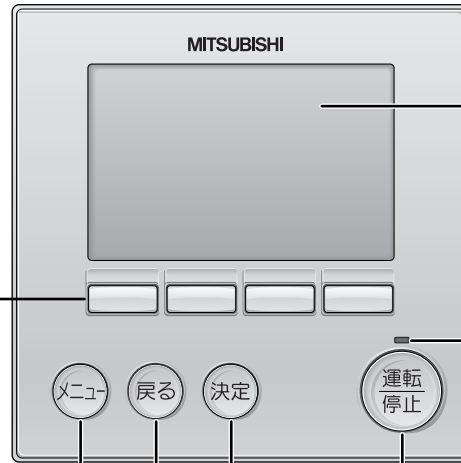
- メイン画面：風量を切替えます。
- メインメニュー画面：次のページを表示します。

メニューボタン

- メインメニューを表示します。

戻るボタン

- 前の画面に戻ります。



液晶表示部 (バックライト付)

- 運転内容を表示します。いずれかのボタンを押すとバックライトが30秒間点灯します。点灯中にボタンを操作すると点灯時間が延長されます。

運転ランプ

- 運転中、緑色に点灯します。立上げ時、異常時は点滅します。

運転/停止ボタン

- 1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

決定ボタン

- 設定の決定をします。

■バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。(運転/停止ボタンは除く)

■基本運転(運転/停止、運転モード切替、風量調節、温度設定)以外はメニュー画面からの設定となります。

■運転モードの点滅表示

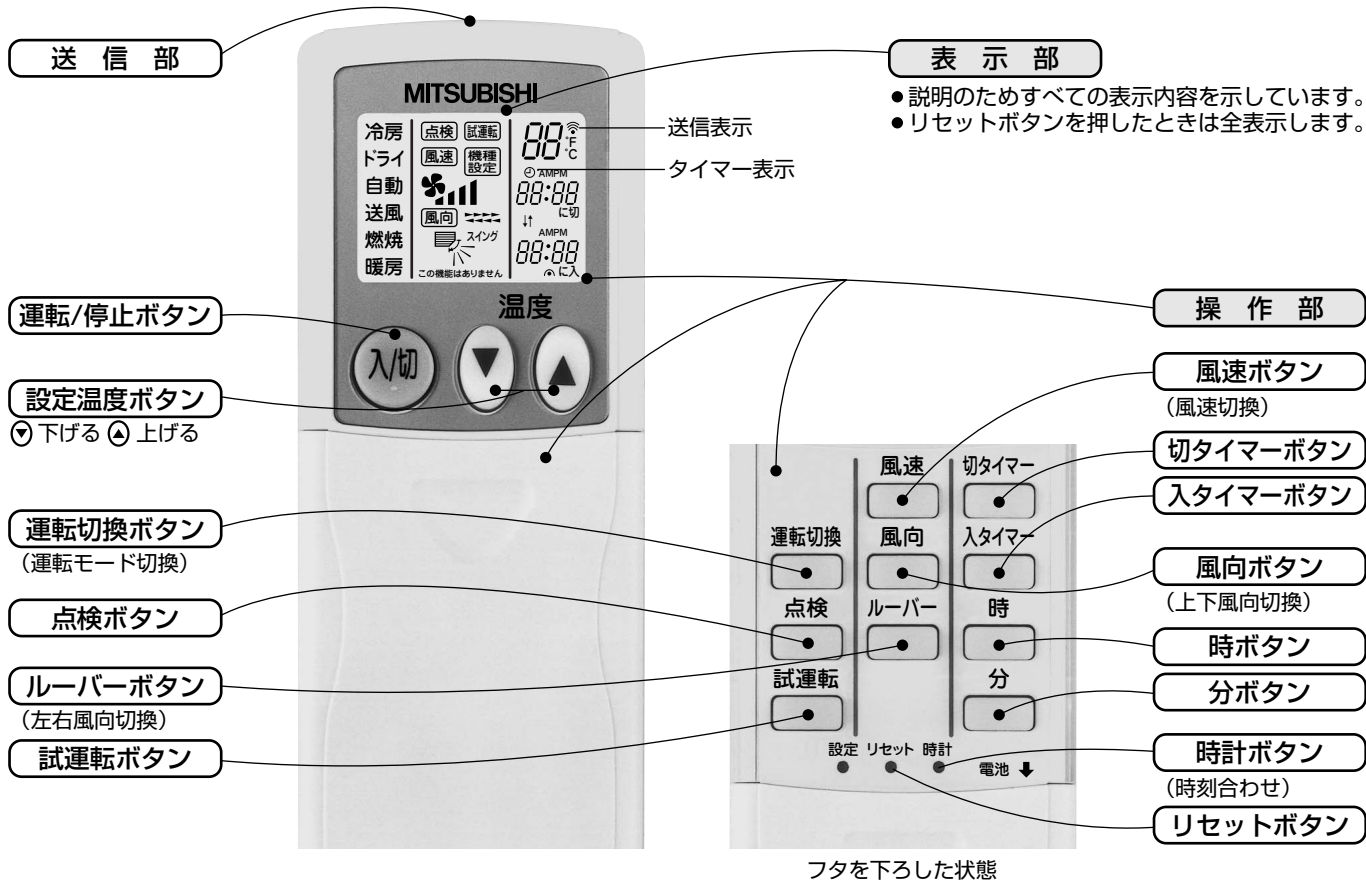
同一の室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転をしている場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。

■複数台の室内ユニットを同一のリモコンで操作している場合、リモコンで操作できる機能は、代表室内ユニット(親機)の機能となります。

■室温表示

本体の室温センサを使用時で複数台の室内ユニットを操作されている場合のリモコンへの表示は、代表室内ユニット(親機)の内容が表示されます。室温センサ位置は、“本体”と“リモコン”が選択でき、初期設定は、“本体”となっています。

ワイヤレスリモコン (別売部品)



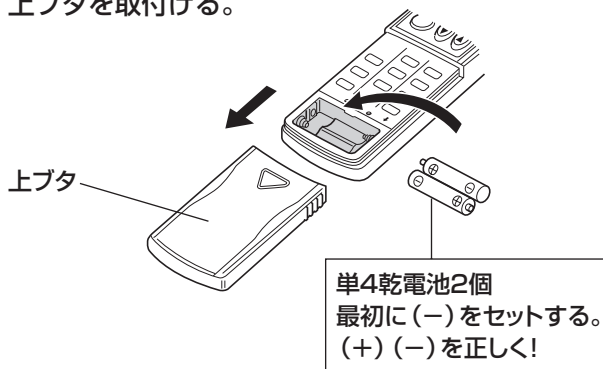
各部のなまえ

- リモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。
- 電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピッピッ”と発信音がすることがあります。初期自動点検中ですので約2分間お待ちください。
- リモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。
- 受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。お買上げの販売店へご連絡ください。

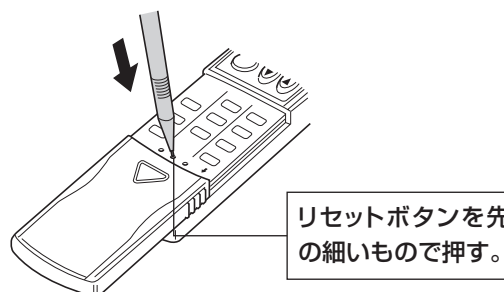
- リモコンの取扱いは大切に！ 落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。
- 紛失防止のためにリモコンホルダー（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

電池を入れる／交換の方法

- 1 上ボタンを引き抜き、単4乾電池2個を入れて上ボタンを取付ける。

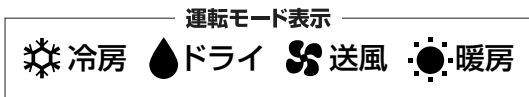
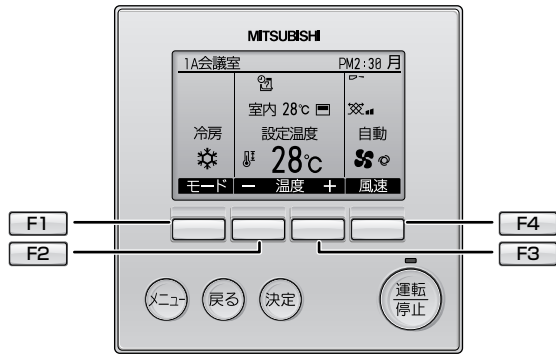


- 2 リセットボタンを押す。



● 運転のしかた 運転モードの切替、室温・風速調節のしかた

運転開始の前に... 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。



運転モード表示

 冷房 ドライ 送風 暖房

運転の開始、運転モードを選ぶとき

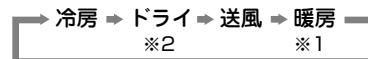
ワイヤードリモコンの場合

ボタンを押す。
 運転ランプと表示が点灯します。
 ボタンを押す。

ワイヤレスリモコンの場合

ボタンを押す。
 表示が点灯します。
 ボタンを押す。

● 1回押すごとに設定が切替わります。



※1 冷房専用設定とした場合は、暖房の表示はされません。設定もできません。
 ※2 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。

設定温度を変えたいとき

ワイヤードリモコンの場合

室温を下げたいとき ボタンを押す。
 室温を上げたいとき ボタンを押す。

ワイヤレスリモコンの場合

ボタンを押す。
 ボタンを押す。

● 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
 ● 設定温度範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	送風
19~30℃	17~28℃	設定できません

※ 設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。(設定温度範囲制限中は が表示されます。) 範囲を超えて設定しようとした場合、“設定温度制限中” が点滅表示され、制限中であることが表示されます。くわしくは、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

風速を変えたいとき

ワイヤードリモコンの場合

ボタンを押す。
 ● 1回押すごとに設定が切替わります。

ワイヤレスリモコンの場合

ボタンを押す。

風速	ワイヤードリモコンの場合	ワイヤレスリモコンの場合
4段階機種	(弱) → (中2) → (中1) → (強)	(弱) → (中2) → (中1) → (強)
2段階機種	(弱) → (強)	(弱) → (強)

お知らせ

- このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
- “暖房準備中”・“暖房霜取中”表示のとき
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
- 暖房運転直後（モード切替待機中）
- ドライモードのとき

運転モードの切替、室温・風速調節のしかた

運転を停止するとき

ワイヤードリモコンの場合

 ボタンを押す。

ワイヤレスリモコンの場合

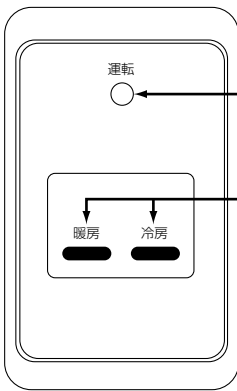
 ボタンを押す。

⚠ 注意

運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因となることがあります。

● 運転のしかた 応急運転のしかた ワイヤレスリモコンが使えないとき

ワイヤレスリモコンの乾電池が切れたり、ワイヤレスリモコンが故障したときには、ワイヤレスリモコン受光部の応急運転ボタンを使って応急運転ができます。



運転ランプ
(運転時:点灯、停止時:消灯)

応急運転ボタン

リモコンが使えなくなったとき、ワイヤレスリモコン受光部の冷房または暖房ボタンを使って応急運転してください。

1回押すごとに運転(冷房または暖房)⇔停止に切り替わります。
冷房専用機種の場合、暖房ボタンを押すと送風運転となります。

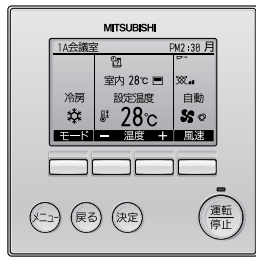
- インバータ方式の蛍光灯をつけた部屋では、信号を受けつけない場合があります。新たに蛍光灯を買われる場合は、販売店に相談してください。

※応急運転時の運転内容は下記になります。
ただし、最初の約30分間は温度調節がはたらかず連続運転になり風速は強になります。

運転モード	冷房	暖房
設定温度	24℃	24℃
風速	強	強

運転モードの切替、室温・風速調節のしかた
応急運転のしかた

● 運転のしかた 換気運転のしかた



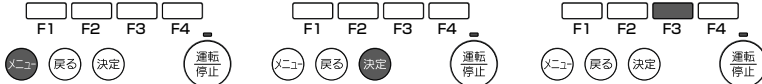
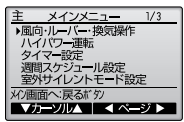
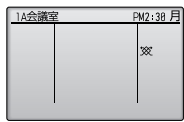
換気運転を行うとき

ワイヤードリモコンの場合

- 室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき **運転停止** ボタンを押す。
● 室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。
- 換気装置を単独で運転するとき

- 1 **メニュー** ボタンを押す。
- 2 **決定** ボタンを押す。
- 3 **F3** ボタンを押す。

(「風向・ルーバー・換気操作」を選択している状態で)



- 換気運転の風速を変えたいとき

F3 ボタンを押す。

お知らせ

■ 室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

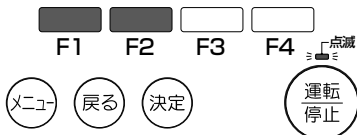
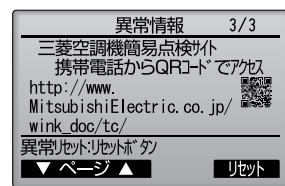
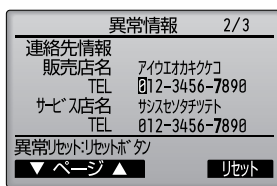
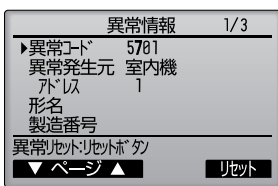
ワイヤレスリモコンの場合

- 換気装置が連動接続している場合はエアコンが運転を開始すると自動的に換気も運転します。
- リモコンには表示されません。
- 換気装置の単独運転はできません。

換気運転のしかた
その他の表示・点滅について

● 運転のしかた その他の表示・点滅について

- 「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合は空調機に障害が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。異常内容をご確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

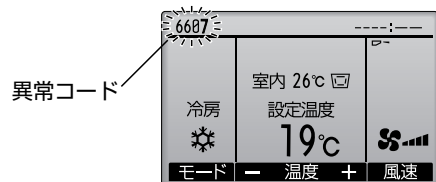


連絡先情報はあらかじめ入力されている場合にのみ表示されます。

携帯電話点検コード検索サービスのQRコードとURLが表示されます。

異常コード、異常発生元、M-NETアドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合にのみ表示されます。
F1 **F2** ボタンで次のページを表示します。

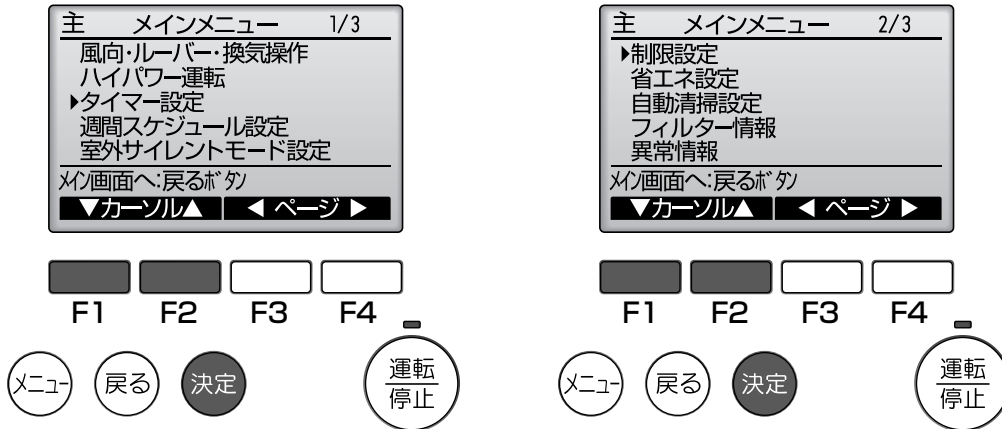
- 「異常コード」のみが点滅している場合（運転ランプは点灯したまま）空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。



● 運転のしかた タイマー、スケジュール、省エネ運転のしかた(ワイヤードリモコンの場合)

ワイヤードリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転、省エネ運転の設定ができます。ワイヤードリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、**F1** **F2** ボタンで設定したい項目を選択します。詳細設定方法は、ワイヤードリモコンの取扱説明書をご確認ください。

※ハイパワー運転、室外サイレントモード設定、省エネ運転スケジュールは、本機種非対応のため使用できません。



タイマー運転

- オン/オフタイマー
運転開始時刻と停止時刻が5分単位で設定できます。
- 消忘れ防止タイマー
運転を開始してから停止するまでの時間を10分単位で設定できます。設定時間は30分から240分の範囲で設定できます。

週間スケジュール運転

- 1週間の運転/停止時刻と設定温度が設定できます。
- 1日最大8パターンの設定ができます。

省エネ運転

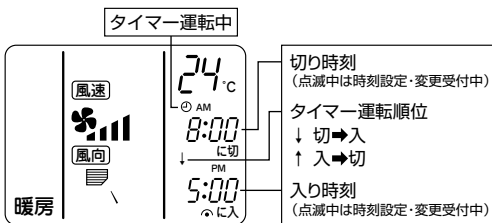
- 設定温度自動復帰
設定時間後に、設定した温度に戻します。
設定時間は10分単位で30分から120分の範囲で設定できます。

タイマー運転はワイヤレスリモコンでも設定できます。「タイマー運転のしかた(ワイヤレスリモコンの場合)」の項をご確認ください。
週間スケジュール運転、省エネ運転は、ワイヤレスリモコンでは設定できません。

● 運転のしかた タイマー運転のしかた (ワイヤレスリモコンの場合)

タイマー運転の設定は、ワイヤレスリモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから“ピッ”と音のすることを確認しながら行ってください。

- タイマー運転には次の3つの方法があります。
 - **入タイマー運転** 運転の開始のみをタイマーで行う。
 - **切タイマー運転** 運転の停止のみをタイマーで行う。
 - **入切タイマー運転** 運転・停止の両方をタイマーで行う。
- タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。
- タイマー時刻設定は、10分単位です。



現在時刻の設定を行うとき

- 1** **入/切** ボタンを押す。リモコンに表示がでます。
- 2** **時計** ボタンを押す。現在時刻が点滅します。
- 3** **時** ボタン・**分** ボタンを押す、**現在時刻を合わせる**。(電池を入れて最初に現在時刻を合わせる時はここから操作してください。)
- 4** **時計** ボタンをもう1回押す。現在時刻が点灯します。(現在時刻合わせの設定完了です。)
 - 設定中に現在時刻が点滅から点灯に変わった時には手順 **2** からやり直してください。

入タイマー運転を行うとき

- 1** **入/切** ボタンを押す。リモコンに表示がでます。
- 2** **入タイマー** ボタンを押す。現在時刻が消灯し、入り時刻と **入** が点灯します。“入”表示が点滅します。
- 3** **時** ボタン・**分** ボタンを押す、**入り時刻を合わせる**。
 - 入タイマー時刻設定後“入”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、入タイマー設定が完了します。
 - エアコンの運転は自動的に停止し、**入り時刻** まで待ちます。
 - 設定中に“入”表示が点滅から点灯に変わった時には**入タイマー** ボタンを押した後、手順 **2** からやり直してください。

切タイマー運転を行うとき

- 1** **入/切** ボタンを押す。リモコンに表示がでます。
- 2** **切タイマー** ボタンを押す。現在時刻が消灯し、切り時刻と **切** が点灯します。“切”表示が点滅します。
- 3** **時** ボタン・**分** ボタンを押す、**切り時刻を合わせる**。
 - 切タイマー時刻設定後“切”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、切タイマー設定が完了します。
 - 設定中に“切”表示が点滅から点灯に変わった時には**切タイマー** ボタンを押した後、手順 **2** からやり直してください。

入切タイマー運転を行うとき

- 1** **入タイマー**・**切タイマー**両方の設定をする。
 - ↑↓表示は↑または↓どちらかが表示され、
↑は、停止→運転(入り時刻)→停止(切り時刻)
↓は、運転→停止(切り時刻)→運転(入り時刻)を表します。

タイマー運転を解除するとき

- 入タイマー運転を解除するとき **入タイマー** ボタンを押す。 ●入り時刻が消灯し、入タイマーは解除されます。
- 切タイマー運転を解除するとき **切タイマー** ボタンを押す。 ●切り時刻が消灯し、切タイマーは解除されます。
- 入切タイマー運転を解除するとき **入タイマー** ボタンと **切タイマー** ボタンを押す。 ●入り時刻と切り時刻が消灯し、タイマーは解除されます。
- タイマー運転を解除し、エアコンを停止するとき **入/切** ボタンを押す。 ●エアコンは停止します。同時に、設定されていたタイマー運転も解除されます。

お知らせ

■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

● 運転のしかた もっと知りたいとき

ドライ運転とは

- マイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転(ドライ運転)を行います。
- 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
- 室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切り替えが行われ、リモコンでは設定できません。
- 運転モード



温 室	圧縮機運転3分後		圧縮機運転時間 (分)	圧縮機停止時間 (分)
	温調信号	室 温		
18℃を超える	ON	28℃以上	9	3
		26~27℃	7	3
		24~25℃	5	3
		23℃以下	3	3
18℃以下	OFF	無条件	3	10
圧縮機運転禁止				

1. お好みの室温になるまで…
室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。
2. お好みの温度になると…
圧縮機・室内ファンとも停止します。10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

温調信号ON 室温が設定温度より高い場合
温調信号OFF 室温が設定温度より低い場合

暖房運転について

- 暖房開始時に風が弱い：吹出し空気が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切り換わります。その間ワイヤードリモコンには“暖房準備中”と表示されます。
- 風速が設定どおりにならない：室温が設定温度になると、風速は微風となります。
- 風が出ない：ワイヤードリモコンに“霜取中”表示中は風を出しません。
- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわる事があります。

換気連動運転とは

- 室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

使用温度範囲

- 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、機器が異常停止したり、重大な事故の原因となることがあります。

		室 内	天井内 ^{※1}	室 外
冷房・ドライ	乾球温度	—	~30℃	-5℃~43℃
	湿球温度	15℃~24℃	~RH80%	—
暖 房	乾球温度	15℃~28℃	—	—
	湿球温度	—	—	-20℃~15.5℃
送風・換気	乾球温度	—	—	—

- ※1. 天吊形などの露出タイプは除く。
- ※2. 室内外共に使用可能な湿度の目安は、相対湿度30~80%です。
- ※3. 室外ユニットの使用温度範囲は、室外ユニットにより上表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書等でご確認ください。

霜取中とは

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。
この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。
霜取運転は約10分程度(最大15分)で終わります。
- 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

上手な使い方

上手な使い方ー“パッケージエアコン”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度(室温)は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
- たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また、露付・露たれの原因にもなります。
- ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。(18ページ参照)



中間期にはドライ運転を

- ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60~70%、冬では55~70%程度といわれています。
- ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感ずることがあります。ドライ運転をご利用ください。

ときどき換気を

- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。



Q 故障かな? **A** お答えします(故障ではありません)

Q よく冷えない。よく暖まらない。

A ■フィルターの清掃をしてください。(フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです)
■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
■室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。
室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか?
■窓やドアが開いていませんか?

Q 暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。

A ■十分に暖かな風をおとどけするため準備中です。

Q 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。

A ■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を融かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

Q 水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

A ■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。

Q “ピシッ、ピシッ”という音がする。

A ■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。

Q 部屋がにおう。

A ■エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、又は衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。


Q 室内ユニットより白い霧がでる。

A ■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
■霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。

Q 室外ユニットより水・水蒸気が出る。


A ■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。
■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
■霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。


Q リモコンの運転表示が点灯しない。


A ■電源開閉器を入れてください。
表示部に“”が表示されます。


Q 運転ボタンを押したのに運転しない。点灯したリモコンの運転表示が消える。

A ■室内ユニットの電源開閉器が切れていませんか?
電源開閉器を入れてください。

Q リモコン表示部に  の表示が出ている。

A ■ の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。


Q リモコン表示部に  の表示が出ている。


A ■ の表示が点灯中はリモコンでの運転モードの操作が禁止となっています。

「故障かな？」と思ったら

Q 故障かな?

A 为您解答(故障ではありません)


Q リモコン表示部に  の表示が出ている。

A ■  の表示が点灯中はリモコンでの設定温度の操作が禁止となっています。


Q 再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。

A ■ 約3分間お待ちください。
(エアコンを保護するため、止まっています)



Q 運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

A ■ 入タイマー運転をしていませんか?
運転・停止ボタンを押して停止してください。
■ 遠方コントロールが接続されていませんか?
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■  の表示が点灯していませんか?
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■ 停電自動復帰を設定していませんか?
運転・停止ボタンを押して停止してください。

Q 運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

A ■ 切タイマー運転をしていませんか?
運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
■ 遠方コントロールが接続されていませんか?
停止を指示したところへ連絡・確認してください。
■  の表示が点灯していませんか?
停止を指示したところへ連絡・確認してください。

Q リモコンのタイマー運転がセットできない。

A ■ タイマー設定が無効になっていませんか?
タイマー設定がセット可能なときは、、 のいずれかが表示されています。

Q リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。

A ■ 初期設定(約3分)を行っているためです。

Q リモコンにエラーコードが表示される。

A ■ 空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

Q 排水音やモータの回転音がする。

A ■ 冷房運転停止時に、停止後3分間ドレンアップメカを運転してから停止するためです。3分間お待ちください。

Q 騒音が仕様値よりも高い。

A ■ 室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的につぎに示します値程高くなります。

	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室等	応接室、ホテルロビー等	オフィス、ビジネスホテル
騒音アップ値	3~7dB	6~10dB	9~13dB

Q ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。

A ■ 乾電池が消耗しています。
乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。
※新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方(+、-)を再度確認してください。

Q ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯が点滅する。

A ■ 空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では、絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名を連絡してください。

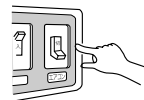
Q 暖房サーモOFF時及び送風運転時に断続的に温風が出る。

A ■ 他の室内ユニットが暖房運転をしている場合、システムの安定性を保つために、制御弁を時々開閉するためです。しばらくすると止まります。※小部屋等で室温が上昇して困る場合は、運転を停止してください。

「故障かな?」と思ったら

● お手入れのしかた・困ったときに **お手入れのしかた**

お手入れの前に ■必ず、電源を「切」にしてください。



室内ユニット、リモコンの清掃

■やわらかい布でから拭きをしてください。

■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。

また、リモコンケースは取外さないでください。

■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。

■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。



フィルターの清掃

⚠ 注意

必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

⚠ 注意

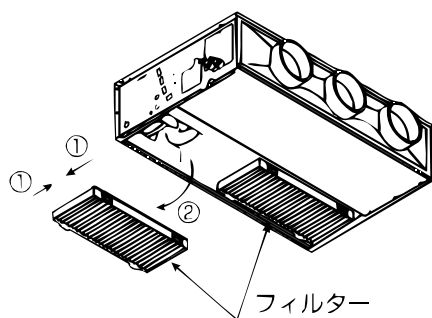
フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因になります。

⚠ 注意

フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行う時は、転倒しないように注意してください。

1 フィルターを取外す。

PDZ-KP・FM形

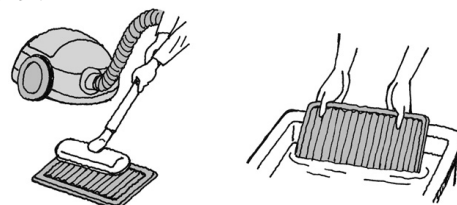


1. フィルターのつまみを矢印①の方向に引くとフィルターが外れますので矢印②の方向に引抜いてください。

2 フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。

■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。




3 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。

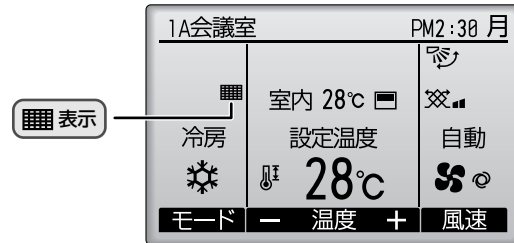
■フィルターは直射日光や直接火にあてて乾かさないうでください。

4 フィルターを元の状態に取付ける。 (取外しの逆の手順)

フィルター清掃時期

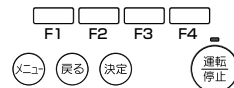
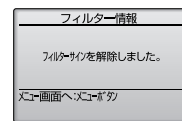
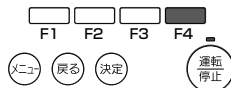
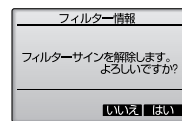
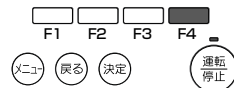
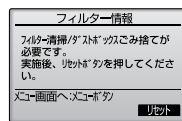
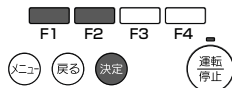
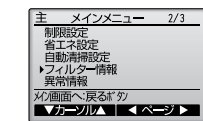
- ワイヤードリモコンの場合は  表示を点灯させて清掃時期をお知らせします。(ワイヤレスリモコンの場合は表示されません。)
- フィルター清掃時期は室内ユニットにより異なります。

室内ユニット	運転時間
PDZ-KP・FM形	2500時間



表示をリセットする

- 1 『フィルター情報』を表示します。
- 2 **F4** ボタン⑤を押す。
- 3 **F4** ボタン⑤を押す。
- 4 完了画面が表示されます。



- 必ずフィルター清掃を行ってから表示を消してください。表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。
- 2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットの代表機種（親機）がフィルター清掃時期となった時に“フィルター清掃”が表示されます（ロングライフフィルター：2500時間、一般フィルター：100時間）。表示を消すと全てのユニットの運転時間がリセットされます。
※親機とは、同一グループの中で最もM-NETアドレスの小さい室内ユニットを示します。
- 運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

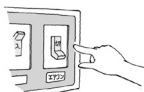
- 1 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

- 不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。



- 2 エアコンの電源を切る。

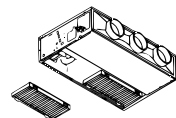
- 電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。



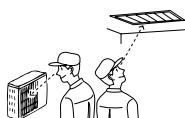
再度使い始めるとき

- 下記作業 1～4 の点検を行い、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

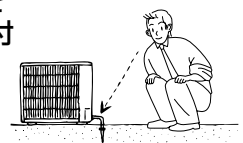
- 1 フィルターを清掃して、取付ける。



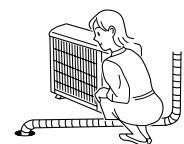
- 2 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。



- 3 アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。



- 4 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



- 5 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。（電源を入れる場合は、必ず外気温度が-20℃より高い条件で実施ください。）

注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。
アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

移設・工事について

移設・廃棄について

- 増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
- 据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。
この製品はフロン回収・破壊法・第一種特定製品です。
- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要です。必ず専門の回収業者に依頼してください。

- 1) この製品は、地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
- 2) 本機には二酸化炭素15.6ton～49.2tonに相当するフロン類が使用されています。
- 3) 上記2)の数値は、本機が接続されている室外機や接続室内機台数、配管長等により異なります。システム全体の数値は、室外機に表示されています。



この表示は、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。エアコンの取外し時は、フロン類の回収が必要です。表示されている数値は、システム全体の最大冷媒量（システムの容量により変化）を能力当りに換算した冷媒量を元に算出しています。

据付場所について

注意

- 可燃性ガスの洩れる恐れのある場所には据付けない。万一ガスが洩れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

■次の場所への使用は避けてください。

- ・可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- ・炎の近くや溶接時のスパッターなどの火の粉が飛び散るところ。
- ・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ（温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など）
- 熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こす恐れがあります。
- ・機械油を使用するところ（加工油を用いプレスや切削をする機械工場など）
- プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。
- ・車輻・船舶など移動するものへの設置

■次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。（室内ユニット）

- ・食用油を使用するところ（厨房など）
- プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。厨房用エアコンまたはダクト空調を選定してください。

・湿気の多いところ

冷房時に結露しやすくなります。

・高周波を発生する機械（高周波ウェルダ、医療機器、通信機器など）を使用するところ

通信異常やマイコン誤動作の恐れがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。

・化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ（美容室など）

臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。

■海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意（室外ユニット）

・海浜地区等塩分の多いところ

使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。

・積雪の多いところ

室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。（別売として用意しています。）

■室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

注意

- アース工事を行う。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。
アース工事に不備があると、感電の原因になります。
- 据付場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断器を取付ける。
漏電遮断器が取付けられていないと、感電の原因になります。

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び据付工事説明書に従って施工してください。

■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。

他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。性能低下や運転音増大のもとになります。

● お手入れのしかた・困ったときに

保証とアフターサービス

- 「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
- お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別添）へお問い合わせください。
- エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証書

- 室外ユニットに保証書を添付しております。セットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
- 内容をよくお読みのおと、大切に保存してください。
- 保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“「故障かな？」と思ったら”（15・16ページ参照）に従ってお調べください。なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。

- 保証期間中は修理に際して、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎていたときは修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。修理料金は、技術料+部品代+（出張料）などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室外ユニットは、保証書に記入してあります。室内ユニットは、室内製品銘板に記入してあります。
3.お買上げ日	〇〇年〇月〇日
4.故障の状況	できるだけ詳しく（リモコンのエラー表示記号なども）
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

- エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。さらに補助電気ヒータ付き機種は、ヒータにゴミやホコリなどが付着して発煙に至ることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
- 点検と保全周期の目安【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

●表1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
センサー (サーミスタ、圧力センサーなど)		5年
ドレンパン		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。

- ①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
(機種によりこととなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年と仮定しています。
(夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。)

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
- ②電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。)
- ③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
- ④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
- ⑤頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。(24時間空調など)

■消耗部品の交換周期目安【交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	
ロングライフフィルター	1年	5年	
高性能フィルター		1年	
ファンベルト		5,000時間	
平滑コンデンサー		10年	
ヒューズ		10年	
加湿エレメント		5年	
クランクケースヒーター		8年	
オイルフィルターエレメント		随時	油が垂れる前に交換

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

仕様

室内ユニット仕様表 ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

※電気特性は製品に貼付してあります製品銘板に記入してあります。
 ※各表の騒音値はA特性です。

●PDZ-KP・FM形

項目		形名	56	71	80	90	112	140
外形寸法	高さ (mm)		本体295／パネル58				本体335／パネル58	
	幅 (mm)		本体960／パネル1040	本体1160／パネル1240			本体1510／パネル1590	
	奥行 (mm)		本体735／パネル600				本体775／パネル600	
風量	強-中1-中2-弱 (m ³ /min)		14.0-12.5- 11.0-10.0	18.0-16.0- 14.0-12.5	19.5-17.5- 15.5-13.5	21-14.5	28.0-19.5	34-24
騒音値	強-中1-中2-弱 (dB)		39-37- 35-33	40-38- 36-34	41-39- 37-35	41-35		44-38
製品質量	本体／パネル (kg)		34／6	38／7			56／8.5	

注. 上記仕様値は、標準機外静圧50Paの時の値です。また、パネルは吸込パネル使用時の値です。
 P90～140形は中1/中2のモードはありません。

